

# (一社) 山梨県サッカー協会 4種委員会 議事録

## 第2回理事会

〈会議の名称〉

理事会

〈会議の日時〉

平成30年7月13日(金) 午後7時～10時10分

〈場所〉

(一社) 山梨県サッカー協会 2階 会議室

〈出席者〉 出席者は◇ 欠席者は◆

- ◇石原幸周委員長(甲府) ◇風間斉副委員長(峡東) ◇福田和久副委員長(峡北)
- ◆内田淳副委員長(峡中) ◇志村祐理事・会計(甲府) ◇三澤厚司理事(郡東)
- ◆藤田徹理事(郡南) ◇鈴木和幸理事広報(甲府) ◆望月一徳理事食育(峡中)
- ◆西島秀和理事(郡東) ◇三浦善明理事(郡南) ◆戸田昭人理事(峡中)
- ◇廣瀬幸司理事(峡東) ◇窪田圭司理事(峡北) ◇三科健二郎事業運営部長
- ◇溝呂木勉審判部長 ◇神取一弘技術委員長 ◆横森潔キッズ部長
- ◆野口フットサル部長

〈議事〉

司会：福田副委員長

### 付議事項

#### 1. 委員長挨拶

#### 2. 報告事項

##### ① 専門部報告

- 事業運営部
- 審判部
- 技術部
- 広報部
- キッズ部
- フットサル部

##### ② その他報告

#### 3. 協議事項

- (1) 2018Nanahocup 大会総括(別紙)
- (2) 北関東大会について
- (3) チビリン山梨県大会について(担当：峡北)(別紙)
- (4) JFA全日本少年サッカー選手権大会・山梨県大会について(担当：甲府)(別紙)
- (5) 個人登録について(U-10・U-11)及び公開登録料の値上げについて
- (6) ニッサングリーンサッカー教室について
- (7) 山梨県U-10選抜大会について
- (8) ウェルフェアオフィサー研修について

- (9) ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム出労について（ロアッソ熊本）
- (10) 天皇杯 4 回戦について
- (11) その他

## 議事経過

### 1. 委員長挨拶

- ・天皇杯の出労大変お疲れ様でした。三連休は気温 40 度以上の可能性がある。各種大会マッチデーなどもWBG T計による計測と記録とりながら実施をし、場合によってはストップする勇気も必要と考える。選手の健康と安全が第一であり熱中症を出さないよう十分に配慮してほしい。

### 2. 報告事項

#### ① 専門部報告

事業運営部

審判部

- ・2019 年度審判更新講習会が 9 月から実施について案内を行っている。

技術部

- ・7 月 16 日（月）県トレマッチデー予定している。熱中症に注意し慎重に実施する。

広報部

- ・関東予選より選手証及び審判証の提示方法を変更した。混乱やクレーム等は入ってこなかった。安堵している。

キッズ部

フットサル部

#### ② その他報告

##### ■（一社）日本サッカー指導者協会【JFCA】について（委員長 別紙）

- ・新たに法人化し事業展開をすることとなった。事業内容は JFA との連携のもと、指導者養成、研修会・講習会の開催及び情報提供を行い、サッカー指導者の資質向上及び環境改善を行う。団体理事会に理事（関東 FA4 種大会部長、山梨県 FA4 種委員長）として参画することとなった。
- ・平成 30 年 8 月 26 日（日）福島県いわきにて、日本サッカー指導者協会指導者講習会を開催する。全国 9 地区にて順次開催する。

##### ■ JFA 第 4 種大会部会（6 月 5 日開催）報告（委員長 別紙）

- ・JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会と名称が改められた。（JFA 主催の名称）
- ・2021 年以降の主管募集を行うことになった。すでに 4 年鹿児島県で開催しているが 2020 年までと決定していることから募集を行う。
- ・JFA 地域ガールズ・エイト（U-12 サッカー大会について、9 地域で約 1,850 名が参加し年々レベルが向上している。小学校 6 年生から中学校 1 年生での登録人口の推移は 2016 年度 83%、2017 年度 85%となっている。徐々に定着しているが、女子の強化に向けた第 1 歩目の大会であり、今後も改善を繰り返し充実した大会にしていく。
- ・4 種指導者ライセンス普及のアンケートに協力いただき、集計次第連絡をお願いする。JFA U-12 選手権は、ベンチ入り役員全員が D 級ライセンス以上を保有すると

いう方向である。各F A・地域において指導者の言動や様々な問題に対し取り組んでいるが、テクニカルなことも含め研鑽を積んだ指導者を増やしていくということ。

■ 関東委員長会議（6月23日開催）報告（委員長 別紙）

① 2018 フジパンCUP・第42回関東少年サッカー大会

- ・ 期日：平成30年8月24日（金）～26日（日）
- ・ 場所：千葉県千葉市フクダ電子フィールド・スクエア
- ・ 組合せ：（山梨代表）  
Aパート：東京1代表、埼玉2代表、中道セレソンSS  
Cパート：千葉2代表、埼玉3代表、フォルトゥナU-12  
Gパート：茨城2代表、VF甲府U-12、群馬3代表

② 関東MTM

- ・ 期日：平成30年7月27日（金）～29日（日）
- ・ 場所：栃木県真岡市鬼怒自然公園サッカー場（天然芝）
- ・ 参加：青森県（男・女）、宮城県、兵庫県、京都府、富山県、茨城県、神奈川県（男・女）、群馬県（男・女）、埼玉県（男・女）、東京都（男・女）、栃木県（男・女）、山梨県、千葉県

③ 懲戒処分について

- ・ 関東選抜大会での退席処分について、神奈川県委員長より書面により処分した旨報告があった。「2018年度関東選抜の2試合ベンチ入り禁止及び選手との接触禁止」

④ 4種女子の育成強化について

- ・ 5年目各F Aで進めてきた、関東でも方向性を共有し進めていく。

3. 協議事項

(1) 2018Nanahocup 大会総括（三科事業運営部長 別紙）

（全体的）

1. 開催期間2ヶ月に及ぶカップ戦形式の大会であったが、大きな問題もなく、各チームにご尽力頂き、天候にも恵まれ全体的にスムーズに運営ができた。最終日は押原公園天然芝Gで行われ、危惧された高温注意報も午前までの開催のため体調不良を訴える選手・スタッフ・保護者もなく無事に終えることが出来た。また、早朝よりピッチの補修をしていただいた望月理事、事務所での作業を快く承諾していただいた管理棟職員の方々に改めて感謝いたします。

（日程）

2. 天候にも恵まれスムーズに行え良かった。最終日の日程も三決・決勝の2試合のみと半日開催ながら余裕があったためにクーリングブレイクが導入されても支障は生じなかったと思える。上位大会のレギュレーションにもよるが次年度以降も今年度のスケジュールが望ましいと考える。

（要項）

3. 要項作成に地区理事が関わって頂き、新しい見方や意見が入れられた為ケアレスミスも減りよかった。峡中地区理事に感謝する。

(ユニフォーム)

4. ストッキングの色違いやサブユニホームの色違いなどの報告があがっており各チームにおいて再度ユニフォーム規定の理解をお願いしたい。

(駐車違反)

5. 最終日に障がい者専用スペースに駐車している、公道の両側に駐車されて危険である等の苦情が寄せられている。各チームにおいて乗り合わせなどによる台数削減をお願いする。

(会場)

6. 会場設定について不公平感（クレー・芝等）が出ないような会場設定ができれば次年度より検討いただきたい。

(その他)

7. 負傷者の交代について、一時的に人数の不利な状態が出現してしまうが今後の対応はどうしていくか検討をお願いする。

※以下理事会確認内容

■三位決定戦が延長となり決勝戦の開始時間を 20 分程度遅らせることになった。クーリングブレイクが実施され、延長戦が重なる場合も程度想定することが望ましい。来年度は三決と決勝の間を現在の 1 時間から 1 時間 30 分程度とることを検討する。

■会場設定についての不公平感について

- ・会場確保を最重要課題としている、次に芝の会場確保も希望している。
- ・大会 4 日目は 1 会場での開催で不公平がどのように発生するのか疑問。
- ・全て芝あるいは人工芝での開催は困難であり、芝・人工芝の会場を持たない地域もある中で大会運営を行っていることに理解をいただきたい。
- ・大会会場確保については、駐車場が確保できる公共の施設を使用することが望ましい面もあり、ピッチ形態以外も会場設定の要素があることも理解が必要である。

■負傷交代について、

- ・ルール上の対応がないので準備が出来るまで止めておくことはありません。
- ・8 人制でありながら、11 人制の交代方法を採用しているので、8 人制のようなインプレー中即座の交代は出来ないこともある。

■ユニフォームについて、

- ・規定通りに理解、運用していただけるよう、機会を見てお話ししていく。

■駐車場の件について

- ・今回の「障がい者スペース」や「公道」への駐車についてはマナー以前に違法行為である。
- ・一般的にチーム関係者をチーム役員や選手・保護者と考えると、各大会において会場チームより台数制限や会場使用の注意点が発信され、概ね各チームの協力が得られているように思われる。
- ・その他応援に来る人たちについてはチームとしても把握が難しい面もあるが、大会参加チームはチームに関わる全ての関係者に対して責任を持つことが求められる

- ・大会に使用する会場確保については、駐車場が確保できる公共の施設を使用することが望ましい。

(2) 北関東大会について

- ・期日：平成 30 年 8 月 3 日（金）～5 日（日）
- ・場所：群馬県伊勢崎市
  - 第 1 代表：U スポーツクラブ
  - 第 2 代表：エルドラード F C
  - 第 3 代表：山梨サッカースポーツ少年団
  - 第 4 代表：F C ヴァリエ都留
  - 第 5 代表：塩山サッカースポーツ少年団
- ・群馬、栃木、茨城、山梨の各県 5 チームと長野、新潟 2 チーム全 24 チームが参加。

(3) チビリン山梨県大会について（担当：峡北窪田理事）（別紙）

- 窪田理事より開催要項案について説明があり、その後開催日及び試合形式等について協議を行った。地区予選は行わず全県オープンの大会として実施する。
- 参加予定チーム（7 月 20 日現在）の集計は 32 チーム。
  - ・郡内東 3、郡内南 6、峡北 4、甲府 7、峡中 7、峡東 5
- 大会日程：2 日間で実施
  - ・予選リーグ：平成 30 年 12 月 1 日（土） 予備日 2 日（日）
  - ・決勝トーナメント：平成 30 年 12 月 16 日（日）
- 参加資格
  - ・今回より、平成 30 年度 J F A 4 種登録済み選手であることが追加される。
  - ・複数エントリーは不可とする。
  - ・今年度は参加費用の徴収はしないが次年度より費用負担を求める方向で協議する。
  - ・1 日目会場費については当該地区負担とすることを確認した。
- 参加方法
  - ・参加希望するチームは予め参加希望を 7 月理事会までに地区理事を通じて担当地区に通知し、その後最終 8 月 30 日（木）までに各地区理事に申し込みを行うこと。
  - ・申し込みに当たり、会場提供（1 会場 2 面）が可能なチームは申し出を行うこと。
- 組合せについて
  - ・甲府、峡中地区は 2、他 1 を申請。
  - ・組合せ抽選は平成 30 年 9 月 8 日（土）の評議員会後に行う。
- 試合方法について
  - ・リーグ戦とトーナメントを組合せて 2 日間で終了する。
  - ・1 グループが 1 面で試合を行う場合も、試合が連続することを避けるため、2 面バージョンでの試合開始時間を採用する。
- 審判について
  - ・予選リーグは、チーム帯同審判員が予め決められた割り当てにより担当する。
  - ・決勝トーナメントは、主審は全て審判部が担当する。

- ・決勝トーナメントの予備審は、第1試合は第2試合の若い番号チームが担当し、第2試合は第1試合の勝者が担当する。

■会場について

- ・甲府、峡中が各2面、他各地区1面を確保する。(会場チーム抽選シード)

□その他

- ・競技規則は2018～19新ルールを適用とする。(審判部より)
- ・1位と2位の2チームはチビリン関東大会in神奈川県に出場権を得る。

■確認が必要となる事項

- ・大会登録選手20名、1試合登録は16名となっている。出場可能選手が15人以下になった時は、その試合は不戦敗(0-4)扱いとすることで良いか？
- ・あるいは、全てのピリオドに出場することは出来ないが、負傷者の代わりに一人の選手が第1ピリオドと第2ピリオドに出場することが出来、第3ピリオドには出場できない。第1第2ピリオド総入れ替えとならないがこの方法では、出場可能選手が12人で対応可能となる。

※確認内容：8月7日(火)U-12リーグ全体会後に委員長及び出席した理事により確認を行った。(以下に記載)

協議事項(決定)

- ・各地区からのシード・推薦チームについて  
シード・推薦チームの選出が困難な地区もあることから、シード・推薦チームの選出は行わない。
- ・組み合わせについて  
1日目を4チームのリーグ戦とし、リーグ1位が2日目の決勝Tに進出。  
1日目のリーグは、地区ができるだけ重ならないように事前に地区割を行う。
- ・抽選について  
9月8日の評議委員会→全日本抽選のあとに実施する。  
①会場運営チーム(8チーム)が始めに抽選を行う。  
②①のあと、甲府→峡中→郡内南→峡東→峡北→郡内東の順で抽選を行う。
- ・1日目の会場提供について  
参加費は、今回導入年度のため徴収しない。1日目の会場は、各地区で準備する。  
参加費は各地区負担とする。(前回理事会にて決定)会場運営チームの報告を8月30日までに受ける。
- ・開催日について  
1日目のリーグは、12月1日(予備日2日)とし、決勝Tは、12月16日(押原公園人工芝)とする。
- ・要項について  
大会期間中の大会登録人数は、20名とする。  
各試合の試合登録人数は、16名とする。  
1ピリオドと2ピリオドは総入れ替えとする。ただし、1ピリオドで選手が怪我をした場合は、2ピリオドの出場選手(試合登録の選手)から交代可能。(退場の場合も同様)※当該選手が3ピリオドすべて出場することは不可とする。  
出場選手が怪我で治療により一時的にピッチ外に出る時は、7人で試合を進めることになる。

怪我等により試合開始時に15人以下となった場合は失格となる。

※各地区理事への依頼内容

- ① 8月30日までに各地区において、参加チーム数の最終確定をお願いします。確定後に窪田まで連絡をください。
- ② 8月30日までに12月1日（予備日2日）の会場提供及び運営責任チームの連絡をお願いします。なお、会場確定ができない場合は、運営チーム名のみお知らせください。
- ③ 1日目の会場費用については、各地区にて負担をお願いします。

※三科事業運営部長への依頼内容

9月8日の評議委員会後に抽選を行いますのでよろしくをお願いします。

抽選方法

- ① 始めに会場運営チーム8チームが抽選を行います。
- ② 地区毎に順次抽選を行います。（事前に地区割を行っています。）

（以上8月7日協議について記載終わり）

（4）JFA全日本少年サッカー選手権大会・山梨県大会について（担当：甲府）（別紙）鈴木理事より大会要項の提案があり内容について協議した。

■大会日程及び会場確保

- ・ 1日目 11月4日（日）開会式は行いません。
- ・ 1日目 11月4日（日）1回戦2回戦、8面各4～5試合（全地区対象）  
郡東（初狩2面）、峡北2面、峡東2面、甲府2面を確保8月31日理事会報告
- ・ 2日目 11月11日（日）3回戦4回戦、4面各6試合（全地区対象）  
峡中2面、郡南2面を確保8月31日理事会に報告
- ・ 会場について、1会場に8～9チームが来場する駐車場キャパを考慮した会場確保をお願いします。
- ・ 3日目 11月18日（日）準々決勝・準決勝 2面 「小瀬補助競技場」
- ・ 4日目 11月25日（日）三位決定戦・決勝戦・閉会式「押原公園天然芝G」
- ・ 運営担当：1日目、2日目は、全地区対象とし各会場の責任チームが担当する。大会3日目と最終日は、役員及び事業運営部員が担当する。

■組合せ抽選会：平成30年9月8日（土）4種委員会評議員会終了後に実施する。

■参加資格

- ・ 参加チームはU-12リーグ前期・後期に参加していること。
- ・ 参加チーム役員の内1名以上が日本サッカー協会公認コーチ（D級コーチ以上）を有すること。
- ・ 参加申し込みは、平成30年8月15日（水）とし、各地区理事がとりまとめ、運営担当甲府地区理事に通知する。（複数エントリー含む）
- ・ 複数エントリーチームは大会参加費5,000-を9月8日までに地区理事に収める。

■大会形式：トーナメント戦ノックアウト方式、優勝以下3位までを決定する。

■大会規定

- ・ 競技者の数は、8名（8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対5として敗戦とみなす。

- ・交代要員は、8名以内、交代回数の制限はなし、リエントリー可能。
- ・ベンチ入りチーム役員の数、2名以上3名以下とし、試合中の指示は立って行う、1名以上が日本サッカー協会公認コーチ資格D級以上を有すること。ライセンス証の提示を求める。
- ・メンバー表は毎試合開始30分前までにエントリー表とともに本部に提出
- ・選手証の提示についても明記する。

#### ■審判

- ・一人の主審と2人の副審と第4の審判員で構成
- ・参加チームは必ず2名以上審判員を帯同すること。（審判証を携行し提示が必要とする。また審判着を上下着用しワッペンを付けること。）
- ・1日目・2日目の第1試合の審判は第3試合の2チームが担当する。（主・4審、副審分担協議）。2試合目以降は前の試合の2チームが（勝ちチームが主審・4審を）担当する。ただし、両チームの協議により分担を変更することも可能とする。
- ・3日目準々決勝の主審・第4審は審判員が担当し、副審は各チーム帯同審判が担当する。準決勝からは全て審判部が担当する。

#### ■ユニフォーム

- ・競技者の用具については2018～19年サッカー競技規則に従う
- ・ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会 第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、日本サッカー協会に承認された場合のみ認められる。

#### ■試合時間

- ・試合時間は40分（前後半各20分）とする。ハーフタイムは選手の休息5分を確保する。
- ・1日目・2日目、規定の試合時間内に勝敗が決しない場合はペナルティーキック方式により決定する。ただし、3日目以降は10分間（前後半各5分）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。
- ・本大会は4人審判制で行うため、交代は主審・4審の承認を得てアウトオブプレー中に行う。（交代ゾーンは設けない）

#### ■懲罰

- ・退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。
- ・警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- ・審判報告書使用して次の試合に申し送る。退場を命じられた競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
- ・山梨県大会（予選）は懲罰規定上の同一競技会とみなし、終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は全国大会において順次消化する

※開会要項を修正後メールにて各地区理事宛て送付する。その後各チームに配信をお願いします。

※大会までのスケジュールを別紙にて提示、参加チーム（複数エントリー含む）の最終締め切りは8月15日とする。

(5) 個人登録について(U-10・U-11)及び協会登録料の値上げについて(委員長)



- ・ U-11、U-10 事業を推進していくうえで協会に登録済選手であることが必要となることを理解していただきたい。
- ・ U-11 では今年度よりチビリン県大会では選手登録済であることが参加資格に明記された。U-10 でも県トレセンや各地区トレセン認定制度による活動が始まり、また来年度より県事業として実施される公式大会への出場については、U-12 カテゴリーと同様の扱いとなることから、これまで登録をしていない選手であっても来年度より登録が必要となることをご理解いただきたい。
- ・ 9月評議員会で各チームの理解をいただき来年度より登録をお願いする。
- ・ 県協会として専任のユースダイレクター体制を継続するうえで、原資となる各種別登録料の改定についてあらためてお願いをする。

(6) ニッサングリーンカップサッカー教室について (委員長)

- ・ 期日：平成 30 年 9 月 23 日 (日)
- ・ 場所：韮崎中央公園陸上競技場 ※雨天時：八田小学校体育館
- ・ 申し込み方法 (山梨放送案)  
先着順ではなく  
①会場手配をしていただいた韮崎チームは別途優先対応する。  
②昨年応募したが参加できなかったチームを優先的に案内する。  
③①～②の後他のチームに案内をする。先着順とする。

(7) 山梨県U-10 選抜大会について (委員長)

- ・ 10 月 8 日会場確保が困難なため日程を変更する。
- ・ 期日：平成 30 年 11 月 10 日 (土)
- ・ 場所：押原公園人工芝 G

(8) ウェルフェアオフィサー研修について (委員長)

- ・ 年一回は開催をしたいと考えている。
- ・ 研修方法等今後担当の三浦理事を中心に検討していくので提案してほしい。

(9) ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム出労について (委員長) (ロアッソ熊本)

- ・ 期日：平成 30 年 7 月 21 日 (土) 集合 14 : 30 (KICKOFF 18 : 00)
- ・ 出労者の確認を行った。  
石原、風間、福田、志村、三澤、藤田、西島、三浦、溝呂木、野口 (10 名)

(10) 天皇杯 4 回戦について (委員長)

- ・ 期日：平成 30 年 8 月 22 日 (水) 集合 14 : 00 (KICKOFF 19 : 00)
- ・ 出労者：県協会より指名された 4 名確認を行った。  
石原・風間 (チケット販売) 福田 (ホーム) 藤田 (アウェイ・藤田理事の都合がつかない場合は三浦理事が出席する。)

(11) その他

- 30 年度評議員会について (委員長)

- ・期日：平成 30 年 9 月 8 日（土）午後 2 時～ （役員集合午後 1 時）
- ・場所：笛吹市八代総合会館（笛吹市八代町南 527 TEL 0 5 5 - 2 6 5 - 4 0 1 1

役員納涼会について（委員長）

- ・評議員会終了後に甲府駅周辺で開催予定（宿泊は有りません）後日集約する。

第 3 回理事会 8 月 31 日（金）午後 7 時～ 押原 2 階会議室

その他

①チャレンジマッチ参加チームについて（委員長）

- ・期日：平成 30 年 7 月 21 日（土）郡内ファンタジスタと対戦するチームを確認  
 峡東地区から 1 チームを決定し連絡する。

以上

議事録作成 平成 30 年 8 月 12 日  
署名：鈴木和幸（甲府地区）